

# 目 次

## 第1章 有機質資材の種類と特性

1 北海道における有機質資源の現存量	
(1) 廃棄物と未利用有機質資源	1
(2) 農業系	2
(3) 漁業系	3
(4) 木質系	3
(5) 食品関係	4
(6) 汚泥	4
2 有機質資材の種類と効果	
(1) 有機質資材の種類	5
(2) たい肥の分類と呼称	6
(3) 有機質資材の土壌および作物に対する施用効果	7
(4) 有機質資材の分解特性による分類	7
3 各種資材の特性	
(1) たい肥類	9
(2) 液状有機物	14
4 有機質肥料とぼかし肥料	
(1) 有機質肥料	18
(2) ぼかし肥料	22

## 第2章 たい肥化のポイントとたい肥の品質

1 たい肥づくりのポイント	
(1) たい肥化の目的	26
(2) たい肥化の仕組みと促進条件	27
2 たい肥の品質	
(1) たい肥の品質とは	31
(2) 腐熟度の判定	31
(3) 品質、安全性に関する現行の基準等	33
(4) 建築廃材利用上の注意	35
(5) 衛生管理面	36
3 病虫害からみた留意点	
(1) たい肥化に際して	38
(2) 利用に際して	40

### 第3章 有機質資材の施用基準と減肥対応

1 施用基準	
(1) たい肥の施用基準	41
(2) 各種有機質資材の施用基準	43
2 有機質資材の肥料的評価（肥効率）と減肥量の目安	
(1) 各種有機質資材の減肥可能量	46
(2) たい肥等の肥料成分含量推定法	50
3 各種有機質資材の肥料成分含量	56

### 第4章 有機質資材施用と環境問題

1 環境への影響	
(1) 有機質資源と環境	70
(2) 地下水の硝酸汚染と投入窒素限界量	71
(3) 土壌への重金属の蓄積	72
2 環境関連法規・規制など	72

### 第5章 実際の利用

1 水稲（水田）	75
2 畑作物（飼料作物含む）	80
3 野菜（施設、露地）・果樹	89
4 牧草（草地）	97

### 第6章 たい肥生産と利用の取り組み事例

1 生産集団でのたい肥生産と有効利用の取り組み	107
2 バークたい肥を活用して畑地の生産力を高める	108
3 稲わらを宝の山に変える	109
4 たい肥センターを核とした地域の農業振興	110
5 もどきたい肥を活用したふん尿処理	111
6 たい肥製造施設を核とした環境保全型農業への取り組み	112
7 酪農の余剰ふん尿を畑作で有効利用	113
8 ゆとり創出と良質粗飼料生産のためのふん尿処理	114

### 第7章 資料

1 クリーン農業と有機農産物	115
2 関連する法律	118
3 市町村別の有機質資材発生量と窒素収支	127